

教科 【 社会 】

■授業革新推進に向けての具体的な方策

<p>視点1</p> <p>板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ内容の復習を取り入れながら、「分かる・できる・楽しい」授業づくりを行う。 ・資料の活用に加え、デジタルツールやICT機器を活用して、自ら調べる活動、教え合う活動、経験から発表する活動等を行う。 ・振り返り活動においては100字程度の文章に加えて、ループリック評価やペア・グループによる相互評価も取り入れ、学びの質を高める。 ・主体的・対話的で深い学びを実現できる授業を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成する。 ・探究的な学習のプロセスを重視し、自ら問いを立てて調査・考察し、他者と共有・評価する活動を取り入れる。 ・生徒に提示されたデータ（統計、グラフ、地図など）を分析させ、生徒自身が探究したい問いを立てる活動を行う。
<p>視点2</p> <p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で学ばせる視点を明示し、Input（認識）-Think（思考）-Output（表現）を意識した授業展開をする。 ・生徒が自身の知識で意見をまとめ、資料や既習内容から説明できるテーマを設定し、話し合い活動を行う。 ・話し合い活動においては、役割や評価基準を明確にし、他者の意見を受けて自らの考えを発展させる力を育む。 ・読み取った情報や意見をもとに、自分の立場や根拠を明確にした構成的な文章表現ができるよう、段階的に指導を行う。
<p>視点3</p> <p>総合的な学習の時間との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人に視覚的に分かりやすい授業を展開するために、これまでの事例をもとに、ICT活用を深化させていく。 ・生徒一人一人が自身で視覚的に分かりやすい資料を作成し発表できるように、資料精選法やまとめ方、ICT機器の活用能力等を育成する。 ・プレゼンテーション能力の向上を図るために、発表内容の構成・視覚的工夫・話し方等を具体的に指導し、フィードバックする時間を充実させる。 ・社会科での学びを、地域の課題や身近な生活と結びつけ、地域の人との交流・インタビュー・フィールドワークなど実社会との接点を意識した学習を行う。